

小学校理科教育 実技・理論研修会 終了報告

テーマ	ナイベツ川の生き物調べ	
日時	令和6年8月1日(木)	
会場	千歳市名水ふれあい公園、千歳川上流「ナイベツ川」	
講師	<p>中原 直彦 氏 <small>(しこつ湖自然体験クラブ*トウレップ 代表理事)</small></p>	
参加者	35名	
研修会 の 様子		<p>最初に講師から千歳の自然環境について説明があり、特に名水ふれあい公園の湧き水は名水百選に選定されているとのこと。また、在来種と外来種についての話から環境教育への視点も大切ということをお伝えしました。さらに、前半の昆虫採集については、授業で採集を行うときには、「小さな虫を探そう」という声かけも面白く、捕獲した虫を入れるケースも様々な物を紹介してくれました。</p>
		<p>前半の昆虫採集が始まり、各々が公園内の様々な場所から虫を捕獲し、中原先生のもとへ。「これは何ですか？」と尋ねる場面が多く、中原先生は名前だけでなく特徴や食べ物等も丁寧に説明していました。大人から小さな子どもまで、とても興味津々に昆虫採集を行っていました。ミヤマクワガタの雌やカミキリムシ、ガの幼虫、ハチ、クモ、ゴミムシ等、とてもたくさん捕獲できました。</p>
		<p>捕獲した虫たちを放した後は、いよいよ川へ。初めに石に付いている小さな生き物を筆でパレットに落として採集。顕微鏡や虫眼鏡を使って観察を行い、特徴を学習しました。カゲロウやカワゲラ、トビケラ、ヨコエビ等、様々な幼虫を捕獲することができました。パレットの水はすぐに温かくなって虫たちが死んでしまうので、パレットを水で冷やしたり、水を取り替えたりしながらの観察が大切とのこと。</p>
		<p>次はお待ちかねの魚獲り。先程の幼虫たちを食べる魚たち(主にヤマメやハナカジカ)を水中メガネで覗いたり、網を使って捕獲したり、とっても冷たい水でしたが、みんなとても楽しんでいました。石の近くや草の陰にいたので、網の方へ追い込んで捕獲するのが簡単。30分のうちにヤマメ62匹、ハナカジカやヤツメウナギ、トラウト等、たくさん捕獲することができました。</p>
		<p>写真を撮ったら魚たちを放流し、講師からまとめのお話を聞いて終了。終了後のアンケートでは、実際に自然に触れてとても楽しく研修できた、子どもたちも楽しんでいた、有意義な時間で勉強になったという意見などがありました。みんな大満足な研修となりました。</p>